

## V. 研究成果刊行物一覽



2025年2月に、法律文化社より、約1,600頁に及ぶ大部の体系書（コンメンタール労働安全衛生法）が発刊された（但し非売品。市販品は2025年4月に発刊予定）。その他、下掲の「生きた産業保健法学」（産業医学振興財団）や、「生きた安全衛生法」も、本研究プロジェクトの重要な研究成果であり、中央労働災害防止協会での研修講座で用いられている。

部分的な研究成果も多数あるが、以下では、代表して統括（三柴）の主要業績のみ掲載する。

なお、2022年10月29日に、日本労働法学会第139回大会で、鎌田代表理事の司会のもと、三柴が中心となり、労働安全衛生法をテーマとする大シンポジウムを開催し（報告内容は、同学会誌136号〔2023年〕に掲載）、労働法学の潮流に労働安全衛生法学の足跡を残したことは、法学領域において大きな成果と言える。

学会が発行する英文誌で公表した文献も国際的に数千（英文誌全体では万単位）のアクセスを得ており、本研究プロジェクトの重要な成果である。

\*代表して研究統括者の業績を示す。

#### ①論文発表

1. Takenori Mishiba : The Legal Regulation of Psychological Hazards at Work: The Hypothesis regarding the Benefits of the Mental Health Approach Compared to the Psychosocial Risk (PSR) Approach, Journal of work health and safety regulation (The Japan Association of Occupational Health Law) ,2(2).97-109,2024
2. 西本実苗, 高橋朋子, 林幹浩, 丸山泰子, 三柴丈典 : 産業保健法学研修の効果測定の結果,産業保健法学会誌,3(2).35-45,2024
3. 三柴丈典（協力 日本産業保健法学会） : 生きた産業保健法学,産業医学振興財団,2024
4. 三柴丈典（協力 日本産業保健法学会） : 生きた労働安全衛生法—成り立ちと運用実態—（非売品）.法律文化社,2024
5. 三柴丈典 : 個人と組織の健康測定・情報管理と法, 日本労働研究雑誌, 762. 4-14, 2024
6. 三柴丈典 : 安衛法の来し方行く末, 日本労働法学会誌, 136. 7-22,2023
7. Takenori Mishiba, Kotaro Kurashige, Shoko Nakazawa : Legal Protection of the Health and Safety for Gig Workers: The Present Status and Future Prospects in Japan, Journal of Work Health and Safety Regulation (The Japan Association of Occupational Health Law,1(1). 54-91,2023
8. 三柴丈典、倉重公太郎、中澤 祥子 : ギグワーカーの安全衛生に関する法的保護のあり方について-日本の状況と展望-（共著）, 産業保健法学会誌 ,1(2). 43-67,2022
9. Takenori Mishiba: Workplace Mental Health Law: Perspectives Based on a

Comparative Analysis of Legislation in Seven Countries ,

International Journal of Comparative Labour Law and Industrial Relations , 38(1). 53-86,2022

10. 三柴丈典：日本の健康情報等取扱い法理と産業医制度,日本労働法学会誌,135. 185-188,2022

11. 三柴丈典：病気休職と期間満了退職 —東海旅客鉄道事件,労働判例百選（第10版）, 58(1). 154~155,2022

12. 三柴丈典：講座：産業保健と法(33)（結び）「産業保健と法」のめざすもの,産業医学ジャーナル, 45 (2). 45,2022

13. 三柴丈典：講座：産業保健と法(32) 休復職と法～一律的な判断基準に代わるもの～(17), 産業医学ジャーナル, 45(1). 36-44,2022

## ②学会発表

1. 中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索,座長・吉田肇, 演者・錦戸典子, 大村倫久, 神村裕子, 江口尚, 三柴丈典,日本産業保健法学会第4回学術大会 メインシンポジウム,2024年9月22日

2. 産業医と生きた法：信頼される産業医を考える, 三柴丈典,第120回日本精神神経学会学術総会 一般シンポジウム「精神科医・産業医の意見申述 その方法と倫理」,2024年6月20日

3. 産業医・産業保健と「生きた法」～政策と事件から得られる実務への示唆～,三柴丈典, 第97回日本産業衛生学会特別講演,2024年5月23日

4. Workplace mental health law, Takenori Mishiba, Loic Lerouge, Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Special Session 6,2023年9月22日

5. Legally Mandatory Stress Check Program in Japan: Essence of the Concept and Practice, Takenori Mishiba, Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Roundtable Discussion 1: National policy approach for psychological health Part 1R1-11,2023年9月21日

6. Protection of Workers' Voices concerning Their Health and Safety in Japan and Reflection on Improvement Plans, Takenori Mishiba, Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Symposium 8: Democracy at work, employee voice and whistleblowing (psychosocial factors for speaking up vs. for individual and organisational silence, regulatory and cultural aspects). S8-4,2023年9月20日

7. フリーランスの健康確保と法,三柴丈典,日本産業保健法学会第3回学術大会シンポジウム1 関係学問の最前線（産業保健）, 2023年9月23日

8. 大学勤務者のメンタルヘルスと法 ～実務的な対応法を考える～,三柴丈典,第44回全国大学メンタルヘルス学会総会 教育講演 2,2022年12月22日

9. 総論：安衛法の来し方行く末,三柴丈典,日本労働法学会第139回大会大シンポジウム報告,2022年10月29日

10. リモート勤務とメンタルヘルス不調者の休復職対応をめぐって～法務と医療実務の視点から～,三柴丈典,日本産業保健法学会第2回学術大会シンポジウム1基調講演,2022年9月17日

11. メンタルヘルス情報の取扱いと法,三柴丈典,第5回日本うつ病リワーク協会年次大会リワーク委員会企画シンポジウム1【地域連携委員会】,2022年7月16日

12. 精神病者の復職判定をめぐる裁判例の到達点,三柴丈典,第19回日本うつ病学会総会特別講演3,2022年7月15日

